

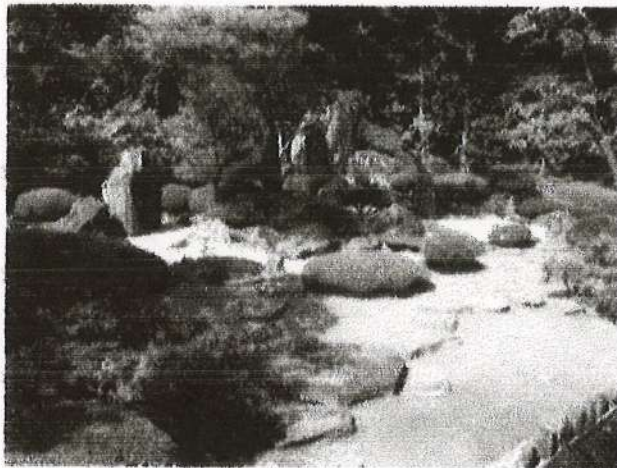
# 観 人 気 ス ポ ッ ト

| 時の鐘 | 一番街 | 菓子屋横丁 | 喜多院 |  
| 中院 | 東照宮 | 本丸御殿 | 氷川神社 |

かつての  
天台宗  
宗関東  
総本山

風格ある  
伝統と  
格式

## 喜多院



慈覚大師が830年(天長7)に創建した天台宗の名刹で、正式には星野山無量寿寺喜多院という。江戸時代初期、名僧天海大僧正が住職をつとめた寺として、また江戸城から移築された三代将軍徳川家光・春日局ゆかりの建物をはじめとする、多くの文化財を所蔵している喜多院の名は川越をというより、埼玉県を代表する寺院として全国的にも有名である。

徳川家康の信任を得ていた天海僧正が第27世住職になると、幕府からの厚い庇護を受け、江戸城から豪華な壁画や墨絵で装飾された「客殿」と呼ばれる家光誕生の間や、3代将軍家光の乳母として

知られる春日局が使用していた「書院」と呼ばれる春日局化粧の間などが移築された。江戸城ゆかりの建造物に加え、山門・鐘楼門・慈眼堂などが重要文化財に指定されており、また隣接して、駿府で没した徳川家康公の遺骸を日光山へ運ぶ途中で法要が行われたことから建設された日本三大東照宮の一つである仙波東照宮もあり、江戸時代の香りを色濃く残す徳川家とゆかりの深い寺である。また、日本三大羅漢の一つに数えられるこちらの五百羅漢は、人間の喜怒哀楽をよくとらえた様々な表情の石仏群でおよそ540体が境内に並び、観光客の人気を集めている。いずれも見学可能で、正月はだるま市・2月は節分会・春は桜まつりなどの催し物が開催され、四季折々の寺の風景も楽しめる。





川越藩の象徴  
歴史を今に伝える  
**本丸御殿**

川越城本丸御殿は保存修理の為、平成22年度末まで休館致します。

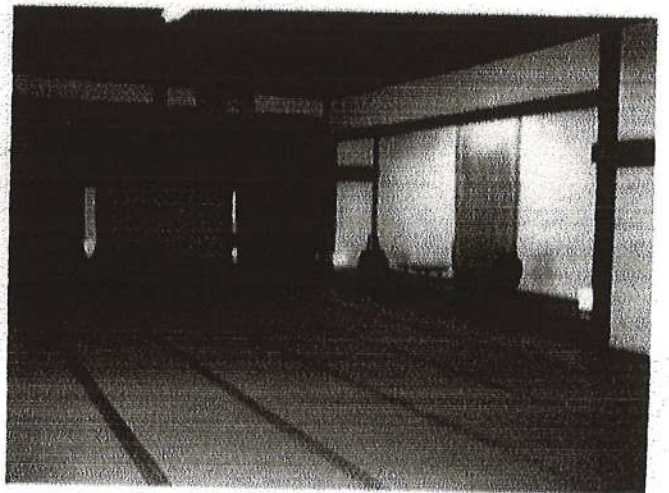


嘉永元年(1848)、時の藩主松平斉典が造営したもので、武家風の落ち着いた作りが印象的な江戸時代17万石を誇った川越城唯一の遺構が本丸御殿である。

川越城は扇谷上杉持朝(おうぎがやつうえずもちとも)が古河公方足利成氏(こがくぼうあしかがしげうじ)に対抗する為、長祿元年(1457)に家臣の太田道真・道灌父子に命じて築城されたもの。その後寛永16年(1639)、徳川幕府の重鎮として知られる川越藩主松平信綱が、川越城の大規模な拡張・整備で、台地上先端に本丸・天神郭・北に二の丸・西に八幡郭・三の丸他の曲輪・本丸西南隅に

三層の富士見櫓と称する櫓を含む三つの櫓と十二の門よりなり、総坪数は堀と土塁を除いて四万六千坪にもなった。現在に残る川越城本丸御殿は、明治維新後の解体により嘉永元年(1848)に時の藩主松平斉典により再建されたものの一部であり、現存しているのは玄関・大広間と移築復元された家老詰所のみ。玄関に入ると廊下がぐるりと部屋を取り囲んでおり、いくつかある部屋の装飾は質素で装飾などは最低限に止められているが、部屋を仕切る扉に描かれた杉戸絵や車寄せの構えは豪壮でさすがに御殿と呼ぶにふさわしい造りである。

大広間にいまだに残る松の絵の絵板戸や、現存する家老詰所には家老の人形(写真上)などがあり、当時の家老たちのやりとりに思いを馳せるのも楽しい。



# 七福神めぐり



## 小江戸川越七福神について

歴史と伝統のある川越は、一名「江戸の母」とも言われ、大江戸(東京)に対し「小江戸」と呼ばれておりました。今でも市内の随所に城下町のたたずまいを残し、文化財も多く、拝観や見学に訪れる人が年々増えております。

小江戸川越には、古くから七福神をお祀りしている寺々があります。七福神信仰は、室町時代末期より行われ「七難即滅、七福即生」の説に基づくものともいわれております。又家康公と関わりがあった天海大僧正は、天下泰平と人々の幸福を願って、七福とは清康一恵比須天、有福一大黒天、威光一毘沙門天、愛敬一弁財天、人望一福祿寿神、寿命一寿老人、大量一布袋尊と申されました。江戸時代には、七福神めぐりをして無病息災、家内安全など諸願成就を願う人々が寺社をめぐり参詣していたものです。

小江戸川越七福神めぐりは、全行程約6km、東武東上線川越駅や川越市駅、西武線本川越駅を起点に徒歩でも半日、観光と健康増進を兼ね、丁度手ごろなコースです。初詣をはじめ、毎月1日のご縁日にもご家族揃ってお参りをされ、皆様のご健康と諸願成就をお祈り下さい。



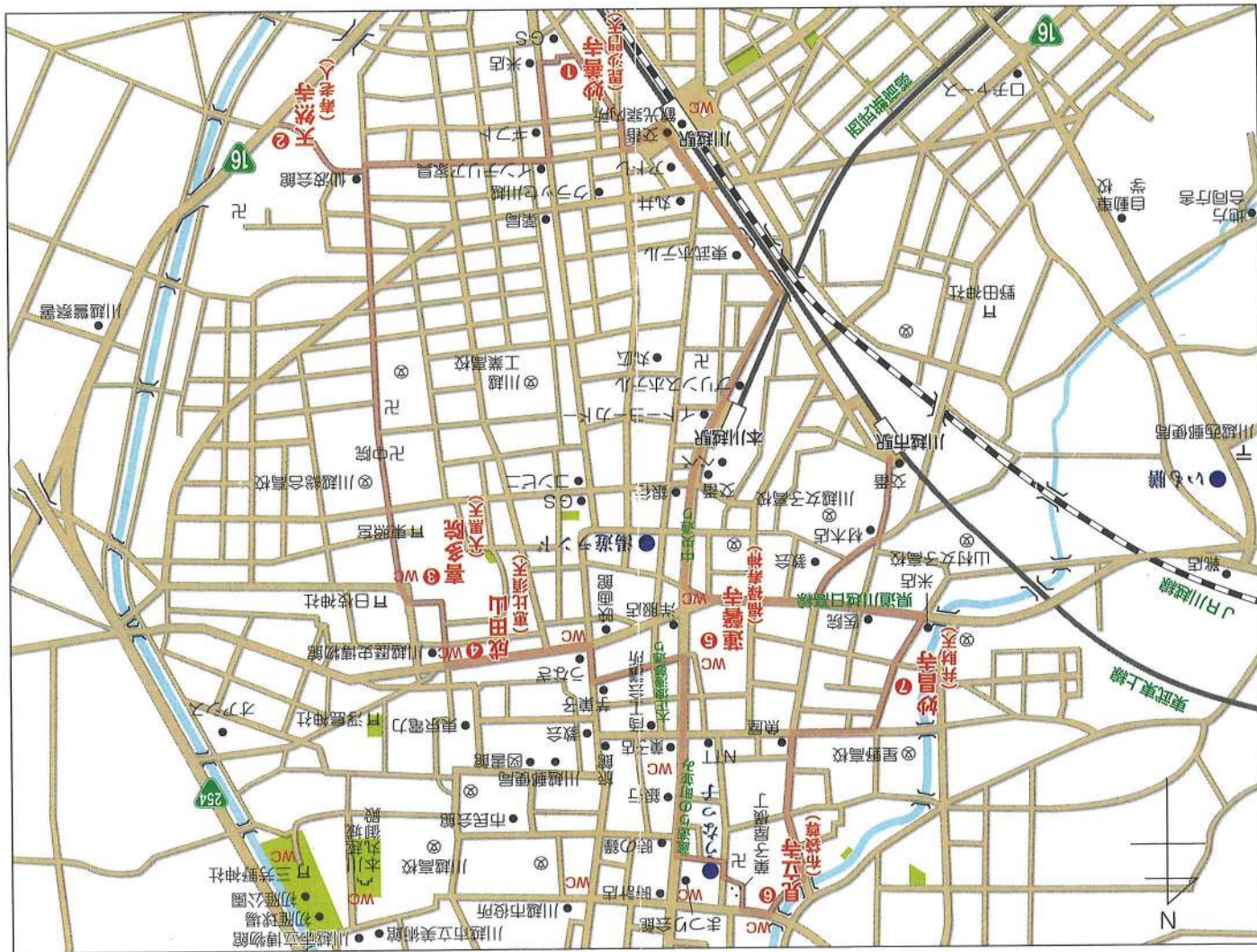
## 小江戸川越七福神霊場会

☎049(222)6151(天然寺内) <http://www.kawagoe.com/7fukujin/>

お問い合わせ先 川越市観光案内所 ☎049(222)5556  
年末年始のお問い合わせは七福神霊場会で受け付けます。

元旦～7日及び毎月1日は七福神のご縁日です

受付時間 午前9時～午後4時  
(法要等により受付できないこともあります)



# 小江戸川越七福神めぐりごあんない

SHICHIFUKUJIN VISIT GUIDANCE



## 第一番

秋の七章  
女郎花



### 毘沙門天

威光

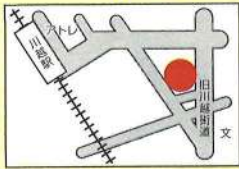
BISHAMONTEN

道人山妙善寺と号し天台宗に属します。開山尊能法印が寛永元年に建立、堂宇は天明8年の火災によって焼失、昭和53年に再建しました。本尊は不動明王で智証大師（円診814-891、55歳の時天台座主）の作、脇に阿弥陀如来を安置しています。

毘沙門天（梵名ベイシラマナ）は、仏教の守護神で多聞天とも呼ばれています。よろい、かぶとに身を包み左手に持っている宝塔より無量の宝物を衆生に与えて福德を授け、右手の鐙は邪を払い魔を降す徳を示します。心には勇気決断、くらしには財という、物心ともども福を施す神であります。

### 妙善寺 MYŌZENJI TEMPLE

川越市菅原町9-6 ☎222-7559



## 第三番

秋の七章  
萩



### 大黒天

有福

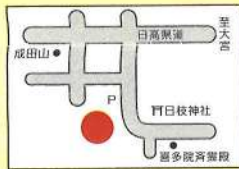
DAIKOKUTEN

淳和天皇の勅で天長7年（830）慈覚大師の創建。寛永15年（1638）川越大火で焼けた後、將軍家光公が江戸城の別殿を移築し、その他諸堂を再建しました。すべて文化財で拝観ができます（1月8日まで休み）毎日厄除などの護摩修法も行われています。

大黒天は古代インドの閻黒の神で、仏教での戦闘神です。平安以後食を司る台所の神と崇められました。又日本の神大國主命を大國と混同させ、命の御神徳を合せ、糧食財宝が授かる神として信仰を得ました。くろ（黒）くなくなつてまめ（魔滅）に働いて大黒天を拝むと大福利益が得られます。

### 喜多院 KITAIN TEMPLE

川越市小仙波町1-20-1 ☎222-0859



## 第五番

秋の七章  
尾花



### 福祿寿神

人望

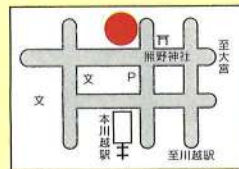
FUKUROKUJIN

子育吞龍上人で親しまれている当山は、戦国の昔、川越城将大道寺駿河守正繁侯が母堂蓮馨大師の御為に建立されたお寺で、開山は感登存貞上人、徳川時代には浄土宗開東十八檀林（坊さんの大学）の一でありました。

福祿寿神とは、幸福、高祿、長寿の三徳を具えて、これを人に与え、方位除災、商売繁昌、延寿福楽等のご利益を現される方でありますが当山の尊像は右手に靈芝、左手に神亀を持たれ、瘤や脳卒中を早く治しなさい、そうすれば、福祿寿が得られますと教えています。

### 蓮馨寺 RENKEIJI TEMPLE

川越市連雀町7-1 ☎222-0043



## 第七番

秋の七章  
藤袴



### 弁財天

愛敬

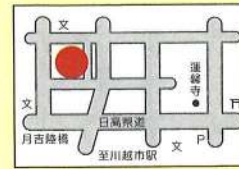
BENZAITEN

永和元年池上本門寺第四世日山上人が開創し、諸堂は、今の幸町周辺にあったが、江戸時代城下町整備により、現在地に移ったものです。当山の弁天さまは、遠く室町時代に時の地頭が、経文を小石に書き写し塚を築いて、社を建てたもので、のちに川越城築城に際し、城の裏鬼門にあたるところから太田道灌公も特に尊崇厚かったと伝えられています。

弁天さまは、七福神唯一の女神で、弁舌、芸術、財福、延寿を授ける神として、古くから、商人や芸人など巾広い人々の信仰を集めており、運を開き、福を招く女神です。

### 妙昌寺 MYŌSHŌJI TEMPLE

川越市三光町29 ☎222-2414



## 第二番

秋の七章  
桔梗



### 寿老人

寿命

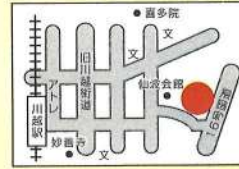
JUROJIN

自然山大日院と号し、本尊大日如来（金剛界）を安置、慈覚大師草創の地と伝えられていますが、天文23年（1554）9月開山榮海上人によって創建されました。境内には願掛観音像、六地藏尊があります。

寿老人は、中国の神様で、老人星の化身、福祿寿と団体異名であるとも言われ、そのお姿は多様であります。当時の寿老人は、彦根智教寺に安置されていたもので、長頭、長髯、右手に杖を持ち、左手に長寿のしるしの桃を持っています。富財、子宝、諸病平癒とそのご利益は多岐にわたっておりますが、なんとと言っても長寿の神として信仰されております。

### 天然寺 TENNENJI TEMPLE

川越市仙波町4-10-10 ☎222-6151



## 第四番

秋の七章  
撫子



### 恵比須天

清廉

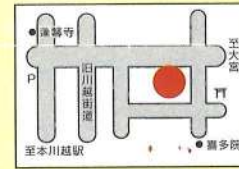
EBISUTEN

大本山成田山新勝寺の別院で、真言宗密教の寺院であります。本尊は不動明王。交通安全祈願で広く知られ、亀のいるお不動様としても親しまれています。恵比須様は「福の神」の代表。鯛を抱いた福々しい相好はなじみの深いものであります。

恵比須の名は、外人を意味するエビスの言葉と同一で、本来は異郷から来臨して人々に幸福をもたらすと信じられた神であります。漁村では海の神、農村では田の神、山村では山の下に、都市では市神、福利を招く神として、商人からも深い信仰が寄せられています。

### 成田山 NARITASAN TEMPLE

川越市久保町9-2 ☎222-0173



## 第六番

秋の七章  
葛草



### 布袋尊

大量

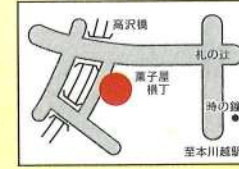
HOTEISON

寿昌山了心院と号し、浄土宗に属します。永禄元年（1558）、小田原北条氏の重臣で川越の城将大道寺正繁侯が、感登存貞上人を請じて開山されました。堂前のつげの古木の下に、徳本行者の名号碑と古誌に記されている石灯籠があります。現本堂は、明治14年建立のものであります。

布袋尊は中国唐代の禪僧で名は契此。小柄で大鼓腹、大きな袋を担って各地を放浪し、吉凶を占い、福を施して倦むことがなかったといひます。又、未来仏たる弥勒菩薩の化身ともいわれ、昔から崇められてきました。

### 見立寺 KENRYUJI TEMPLE

川越市元町2-9-11 ☎222-3321



### 毎月1日は七福神のご縁日です

受付時間 午前9時～午後4時  
(法要時により受付できないこともあります)

各寺院には下記のような七福神絵馬の御分体と、宝船、川越時の鐘をかたどった色紙があります。お参りの際に集めてまわるのも楽しいでしょう。

### 七福神絵馬

### 色紙



絵馬・色紙共に元旦～7日及び毎月1日のご縁日に受付